

若葉区地域福祉計画をつくりたい

貝塚・桜木・加曽利・大宮地区フォーラムニュース vol.1

千葉市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように「地域福祉計画」を策定します。

策定にあたっては、地域の課題を地域の住民自身で考えていくために地区フォーラムを設置します。

地域福祉とは

「地域福祉」は、個人が人としての尊厳をもって家庭や地域の中で障害の有無や年齢に関わらずそのらしい生活が送れるよう、地域住民がお互いに支えあっていくことです。

このためには、地域住民がさまざまな生活上の課題に目を向けてその課題の解決策について一緒に考え、お互いの顔が見えるような関係づくりをしていくこと

が必要です。

そして、この生活上の課題は特定の人々だけの問題ではなく自分の問題でもあること、自らもサービスの受け手であり、担い手でもあるということを意識し、「共に支え合い助け合うまち」の実現を目指していくことが大切となります。



地域福祉計画は

地域福祉の推進のために平成12年に改正された社会福祉法の中で「地域での福祉サービスの利用の促進」・「地域福祉に関する活動への住民の参加促進」などを内容とする地域福祉計画の策定が定められました。

これまでの行政から住民への一方的な福祉のあり方ではなく、地域住民が協力して助け合い、地域のいろいろな課題解決への参加と行政・地域福祉を担う事業者の協働により取り組んでいくということが求められています。そのためには、市民一人ひとりの力がとても必要となります。

「地域福祉計画」は、生活の拠点である地域に根ざし、お互いを思いやり、助

け合い、その人らしく自立した生活が送れるようなくみをつくるための「地域での人と人のつながり」を大切に作る計画です。

若葉区地域福祉計画は、18年3月までの2年間をかけて、地区フォーラムでの検討を基に策定委員会においてとりまとめます。

地区フォーラムが、1月25日からスタートしています。これまでに4回の会議が若葉区役所で開催され、各委員から出された身近な問題から課題を設定し、解決策を検討しています。今回はご出席された委員をご紹介します。(広報担当 松浦)

問い合わせ 千葉市 保健福祉総務課

電話 (245) 5158 FAX (245) 5546

<http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/somu/chiiikifukushikeikakukau>

地区フォーラムには、こんな人たちが参加しています

私は、会社定年退職を待っていたかのように始まった、痴呆症の義母の介護がきっかけで福祉に取り組むことになりました。

あれから7年いま私は69歳です。

貝塚の地に移り住んで30年になりますが、東京通勤や地方への単身赴任で定年後の地域生活は「まるで浦島さん」を実感したので

このことが私の地域福祉への目を開かせてくれることになりました。

大きなことを言うようですが、私の願いは「成熟社会の構築に微力を」です。

そのためには少子高齢化核家族、多様性、個性の尊重、希薄な地域社会、地方

分権、増大する福祉費用と財政難、効率活用、などのキーワードを横目に見ながら、「0歳から百歳まで」を合言葉に、互いを思いやることのできる、時代の要請にあつた地域社会を作り上げる努力が必要と考えています。

今、所属自治会の名において、団地の福祉課題を解決する仕組みを考えています。2年前から有志10名ほどで話し合いを続け、ようやくこの4月の総会で計画の基礎が承認されようとしております。

さて、肝心のフォーラムですが、まず第一に、それぞれの地域で立派に役割を果たし、各分野を代表される経験豊富な方々とお知り

合いになれたことを幸せに思っております。

会合が進むにつれて、これは予想外に大変な仕事なのだということに気がついてきましたが、個性豊かなメンバーの和気あいあいとした共同作業を通じて、われらが千葉市の地域福祉計画の策定に寄与したいものと考えます。

和気あいあいといいますが、期間中、たまにはカラオケや食事会などいかなものでしょうか。そんな暇はない」とお叱りを受けるかもしれませんが・・・皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

フォーラム委員長

公専参加

貝塚町(金子 幸允)



若葉区地域福祉計画策定基礎調査(平成16年2月20日実施)から

Q あなたが地域で生活する上で、困っていることは、どのようなものですか。あれば、具体的に記入下さい。

A 私は60代後半で、妻と二人暮らしです。

近所は一人暮らしが増えて、いずれ自分達もそうなるでしょう。

会社勤めの頃は近所とは最少のお付き合いが気楽だと交流してこなかった、そのつけが老後の孤独な暮らしをせざるを得ないことになりました。

高齢者の福祉について何ができるのか?何をしてもらいたいのか?を自問した時に、定年後は自分にできることを通じて、気取らずに気楽に地域社会にとけ込むことであり、そこから新しいコミュニケーションが生まれるのではないのでしょうか。

バラバラな老人をつなげることから相互理解が生まれ相互扶助につながると思います。



フォーラム副委員長

千葉市自閉症児者親の会

(北大宮台) 長谷川恵美

子

私は、4月で29才になる自閉症傾向にある男の母親です。2才過ぎにてんかん発作を発症し、千葉大学病院で「難治性の点頭てんかん」と告知され、10年間、抗けいれん剤を服薬させながら、病気から障害への苦悩が続きました。

多動、発達障害、認知障害、こだわりとたくさん性格をもち、その日の天気や体調によってもパニックを起こす時とそうでない時があり、ただただ模索しつづけていたように思います。子育ては、親育てとも言



うようですが、本当に親としての価値観や、態度、接し方が「忍耐」を必要とする事等30年間で、私が育てられたとつくづく思う今日この頃です。

そんな時期に今回のフォーラム委員の仕事を引き受け、今まで私達家族がたくさんの方々に支えられた様の後からくる同じような悩みをかかえる親子の支えに、少しでもなれるようフォーラム委員の方々と共に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



区策定委員作業部会

員

ディサービスシャローム若葉

(桜木町) 砂長谷 和子

子ども時代、田舎であったことで、近所の方がお風呂に入りきたり、お米を借りたり、貸したり、電話をとったりいんだり、実に近所近隣が濃密な関係にあったように思います。

今、考えますと、相互扶助精神が時代のなかにあったのだと思っています。フォーラム委員は、積極的に地域福祉に係わっておられるみなさんでした。分野の違う方々とこれから作業がすすめられること

楽しみにしております。会議のたびに地域の二ドが明確になり、行政・民間・住民が理解・協働しながら、その人がその人らしく「あるがままに生き」と生活できる地域社会とするために、地域福祉計画に期待し、またその実現にむけて微力ながら、ボラ

ンティア活動また自分の専門分野を中心に、地域福祉計画策定委員を務めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

地区フォーラム委員一覧表(50音順 敬称略)

あずまはせ 東 茂昭	貝塚町	すなはせ かずこ 砂長谷 和子	桜木町
あるが 有賀 久美子	加曽利町	たかなし 正晴	貝塚町
いとう 伊藤 勝博	加曽利町	たかはし のりゆき 高橋 紀行	桜木町
えのち 榎本 達也	大宮町	たかばたけ 保夫 高田 保夫	桜木町
おおたか 大高 盛男	大宮台	なかむら みのる 中村 貫	桜木町
おがわ 小川 善之	加曽利町	はせがわ えみこ 長谷川 恵美子	北大宮台
おだぎり 小田切 佳世	桜木町	まつら しんじ 松浦 伸治	若松町
かねこ 金子 幸允	貝塚町	またま ゆうこ 間々田 優子	高品町
きしおか 岸岡 泰則	桜木町	みすの すみ 御簾納 寿美	桜木町

地域福祉
実践例

すずらん保育園では、入園されている児童・保護者以外の方に、次の二つの地域福祉を実践しています。一つは老人施設の「美香苑」への訪問、もう一つは隣接する若松中学校の保育体験学習です。



老人施設訪問は年に2回、運動会が終わった晩秋と、クリスマスシーズンの12月中旬ころに実施しています。

入園している年長クラスの子ども達が、「美香苑」で過ごされているお年寄りの方々の前で一生懸命練習したお遊戯や、合奏などを披露します。

1回目の秋の訪問では、「リトミック」というリズムと歌を取り混ぜたリズム遊びの形式のお遊戯を披露します。

子ども達は初めて会うお年寄りの方々の前でも、堂々と演じて見せ、大人の私たちのほうが驚かされています。

お年寄りの方々は、いつも大勢の方が集まって見学していただき、ときには短歌や俳句などを書いていた

だいた時もありますし、涙を流しながらご覧になる方もいらっしやいます。

2回目の訪問ではオペレッタや合奏を披露します。

クリスマスシーズンですのでお花などのささやかな贈り物をプレゼントするのですが、子ども達にも飽きず、お年寄りの方としばらくの歓談を楽しみます。

また、中学生の保育体験学習も毎年2回、家庭科の授業の一環として実施しています。



子ども達は中学生のお兄さんお姉さんが来ると大喜びで、抱っこをしてみたり肩車をしてみたりしています。

少子化、核家族化により中学生は乳・幼児期の子どもと触れ合うのが初めての生徒さんもいます。

また、中学校ではなかなか先生のいうことを聞かないような生徒さんが不思議と、子ども達とよく遊んでくださったり、子どもたちの人気者になったりすることもあったり、先生にも新しい発見があるようです。

♪頂いた短歌より♪

幼な児の

手振り足振り

愛らしく

おじじ拍手し

おばば涙す



鈴らんの

おどりがわいや

孫ひこに

拍手おくりて

おおさわぎ

治



フォーラム委員
すずらん保育園
(若松町) 松浦伸